

大分ケーブルテレコム、中国の武漢広播テレビ局と 番組交流等の「友好的な協力に関する協定」を締結

大分ケーブルテレコム株式会社(本社:大分県大分市、代表取締役社長:中谷 博之)と武漢広播テレビ局(所在地:中華人民共和国湖北省武漢市、台長:顧 亦兵)は、4月1日に大分市の友好都市である中華人民共和国の武漢市にて、「友好的な協力に関する協定」を締結いたしました。

武漢市は、1979年9月に大分市の友好都市となった、中華人民共和国の湖北省にある人口約1,022万人(2014年人口調査)の大都市です。



【調印式の様子】

(後列左から)一般社団法人大分市観光協会会長 幸重綱二氏、大分市長 佐藤樹一郎氏
武漢市人民政府市長 万勇氏、武漢市人民政府副市長 程用文氏
(前列左から)大分ケーブルテレコム(株) 代表取締役社長 中谷博之、武漢広播テレビ局台長 顧亦兵氏

本協定は、大分市と武漢市の友好都市関係のもと、両社相互の人的及び知的資源等を活用し、友好的な交流、協力関係を更に推進させることを目的としています。この協定により、大分県における訪日外国人旅行者の増加を目指し、地域の活性化に貢献していく所存です。

本協定による主な協力事項は以下の通りです。

・番組交流

毎年両社で選出した 3～5 番組を相互に放送。

また、番組企画・制作について定期的な意見交換等を行い、毎年 1 作品以上の共同撮影プロジェクト完成を目指す。

・宣伝番組の放送・撮影

両都市の宣伝番組を相互に放送。

また、両社で協議のうえ、大分市、武漢市の宣伝番組を相手方スタッフにて撮影。

・社員研修

双方で優秀な職員を選抜のうえ、相手方において業務研修等を実施。

また、テレビ番組制作に熱心な学生を募集、選抜し、両社において研修や実習を実施。

武漢広播テレビ局概要

武漢広播テレビ局は、「国家新聞出版広電総局」の管理の下、100 チャンネル近い多チャンネルの他にも、現在5つのラジオチャンネル(ニュース総合、経済、音楽、交通、青少年等)と、8つのテレビチャンネル(ニュース総合、ドラマ、科学教育生活、経済、芸術体育、外国語、児童、広通東方買い物等)を持っており、320万人のユーザーをカバーしている。1949年5月にラジオ局として成立し、1983年11月にテレビ局が成立し現在に至る。武漢広播テレビ局は、ラジオ、テレビ、映画、ニューメディア、広告経営、資本運用やその他のサービスから成る総合的な現代文化メディア企業に発展している。連続で何年にもわたり「全国都市テレビ局ブランド10強」を獲得しており、「最もイノベーション影響力を備える都市テレビ局」の栄誉を与えられている。

大分ケーブルテレコム株式会社について <http://www.jcom.oct-net.ne.jp/>

大分ケーブルテレコム株式会社(本社:大分県大分市)は、大分県下11自治体でケーブルテレビ、インターネット、固定電話、モバイル等を提供しているケーブルテレビ事業者です。株式会社ジュピターテレコム(J:COM)のグループ局として、先進性のある高品質な情報・エンターテインメントの提供を通じ、地域社会の発展に寄与することを目指しています。